

会社概要 (2018年3月31日現在)

商号 株式会社ティーガイア
(T-Gaia Corporation)
本社所在地 〒150-8575
東京都渋谷区恵比寿4-1-18
恵比寿ネオナート14F～18F
資本金 3,154百万円
設立 1992年2月
事業内容 (1) 携帯電話等の販売及び代理店業務
(2) ソリューション、ブロードバンド等
通信サービスの販売取次業務
(3) 決済サービスその他新規事業、海外事業
販売地域 日本全国、シンガポール
従業員数 4,285名

役員 (2018年6月20日現在)

代表取締役会長 澁谷 年史
代表取締役社長 執行役員 金治 伸隆
取締役 副社長執行役員 CFO 多田 総一郎
取締役 専務執行役員 近田 剛
取締役 福岡 徹
取締役 宮下 真弘
取締役(社外取締役) 浅羽 登志也
取締役(社外取締役) 出口 恭子
取締役(社外取締役) 鎌田 淳一
常勤監査役 奥谷 直也
常勤監査役 橋本 良
監査役(社外監査役) 蒲 俊郎
監査役(社外監査役) 北川 哲雄

株式情報 (2018年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 400,000,000株
発行済株式総数 79,074,000株
株主数 9,250名

大株主の状況

氏名または名称	所有株式数	持株比率
住友商事株式会社	23,345,400株	41.89%
株式会社光通信	11,933,400株	21.41%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,397,200株	2.50%
株式会社インフォサービス	1,143,000株	2.05%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,051,200株	1.88%
ティーガイア従業員持株会	727,000株	1.30%
GOVERNMENT OF NORWAY	607,236株	1.08%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS	550,000株	0.98%
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	537,822株	0.96%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	488,000株	0.87%

※ 持株比率は自己株式23,345,796株を控除して計算しております。

日興アイ・アール
全上場企業ホームページ
充実度ランキング



ティーガイア

検索

<https://www.t-gaia.co.jp/>



見やすい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



本誌は、FSC®森林認証紙と
植物性インキを使用しています。



TG REPORT VOL.25

第27期

2017年4月1日～2018年3月31日

新 企業理念

TGビジョン ～わたしたちの目指す姿～

- 新たなコミュニケーションの提案を通じ、お客様に感動・喜び・安心を提供します。

TGミッション ～わたしたちの使命～

- 社員とその家族を大切に、働く喜びを実感できる企業であり続けます。
- ビジネスパートナー・地域社会・株主と強い信頼関係を築き、ともに発展し続けます。
- リーディングカンパニーとして、変化を先取りし、新たなビジネスに挑戦し続けます。

TGアクション ～わたしたちの行動指針～

- 「ありがとう」を超えるサービスを追求します。
- 情熱とスピード感を持ち、積極果敢に挑戦します。
- コミュニケーションを大切に、風通しの良い職場をつくりまします。
- 多様性を尊重し、最高のチームワークを実現します。
- プロフェッショナルとして日々の自己研鑽に努めます。
- いかなるときも高い倫理観に基づき誠実に行動し、コンプライアンスを徹底します。

2014年4月に公表した企業理念のエッセンスを変えず、「よりシンプルに」「より分かりやすく」をコンセプトとして、ブラッシュアップいたしました。

目次 Table of Contents

新 企業理念	1	事業別の業績と取り組み	7
株主の皆様へ	2	連結財務諸表(要旨)	11
特集1 当社の目指す姿	3	TGラウンジ	12
特集2 数値で見るティーガイア	4	会社概要、株式情報	裏表紙
連結業績・財務指標推移	5		

株主の皆様へ

「ICT周辺総合事業会社」を目指し、
持続的な成長を図ります

代表取締役社長 執行役員

金治 伸隆



株主の皆様には益々ご清栄のことと、お喜び申し上げます。

当社グループの主な事業分野である携帯電話等販売市場では、通信事業者による新料金プランの提供、サブブランドやMVNO(仮想移動体通信事業者)の取扱い端末普及により、お客様の選択肢が広がりました。また、新たな通信事業者参入の発表もあり、今後の市場動向について注目が高まっております。

このような事業環境下、端末販売が堅調に推移したことにより、2018年3月期の全社販売台数は459万台と前期を上回り、スマートフォンおよびタブレット比率も過去最高の82.5%を記録しました。連結ベースで増収増益を確保し、ほぼ期初計画通りの着地となっており、2017年12月に実施したクオカード社完全子会社化の影響もあって、当期純利益は101億6千万円と過去最高益を更新しております。

更なる技術革新に伴い、モバイルやインターネット、決済等において、新たなサービスが続々と登場し、ICT周辺領域でのビジネスチャンスが引き続き拡大しております。当社グループは、既存事業の安定的な基盤を維持しつつ、市場性のある周辺事業への投資を通じて、持続的な成長を図りたいと考え、今年度、当社の目指す姿として「ICT周辺総合事業会社」を掲げました。

まずは、コアビジネスであるモバイル事業において業界No.1の地位を堅持するべく、直営店やパートナー代理店の運営・管理における生産性を最大限に高めることに注力します。さらに、ICT周辺領域において当社グループ会社や出資先企業との連携を強化し、グループの総合力がより発揮できる企業間取引であるBtoBおよび、企業が別の企業を通して消費者と取引を行うBtoBtoCビジネスの拡大を目指します。本戦略における成長イメージについては、次ページに具体的に掲載しておりますが、当社グループの持つ強みを複合的に活用しながら、消費者向けモバイル事業の柱を中心に据え、決済サービス事業、ソリューション事業といった柱を太くしていきます。そのために、グループ企業を含めた連携を強化いたします。

2019年3月期におきまして、連結売上高は減収を想定しておりますが、人材や店舗、システム等への戦略投資を継続的に推進し収益性を向上させることにより、増益を計画しております。クオカード社連結効果の通期寄与も踏まえ、連結当期純利益は大幅増益の135億円を計画し、年間配当は5期連続増配の1株当たり73円を予想しております。

今後も、全社の生産性向上と新たな収益基盤の構築を積極的に図り、企業価値・株主価値の更なる向上に注力してまいりますので、引き続きご指導・ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

配当について

業績の進展状況に応じて、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、配当性向30%以上を目途として利益還元を実施してまいります。

2018年3月期
年間配当(1株) **55円**
1株当たり前期比3円増配

2019年3月期
年間配当(予想/1株) **73円**
1株当たり前期比18円増配

当社の目指す姿 「ICT 周辺総合事業会社」

ICT周辺領域



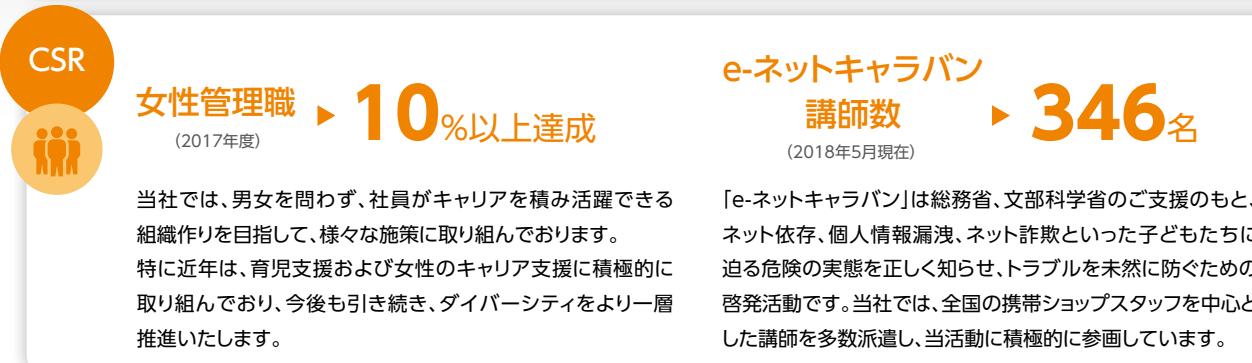
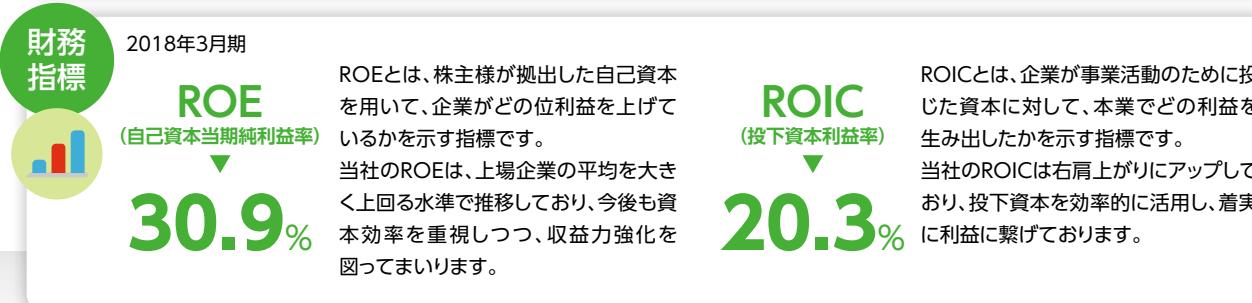
成長イメージ

消費者向け (B to C) モバイル事業の柱を中心に、企業が別の企業を通して消費者と取引を行う (B to B to C) 決済サービス事業、企業間取引 (B to B) のソリューション事業を拡大し、3本の太い柱を構築

多彩なビジネスモデル、広範な取引関係、全国にある営業拠点といった強みを複合的に活用し、グループ会社の連携を強化することで、ICT周辺領域における総合事業会社へ

数字で見るティーガイア

ティーガイアの経営状況や社会的取組みがひと目でわかる数字を一覧にいたしました。



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



1株当たり当期純利益 (円)



純資産 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



総資産 (億円)



自己資本比率 (%)

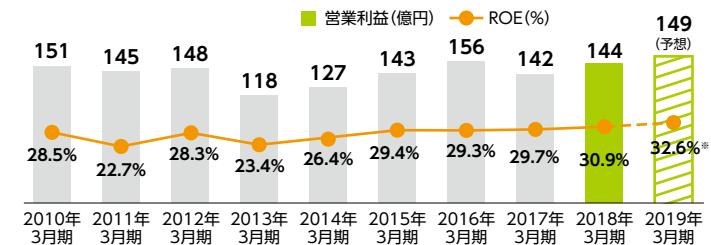


配当の推移



※上記の数値につきましては、過去に実施いたしました株式分割を勘案した数値を掲載しております。

ROE (自己資本当期純利益率)・営業利益 推移



※2019年3月期(予想)のROEは、親会社株主に帰属する当期純利益(予想)および自己資本の期中平均(予想)に基づき算出。

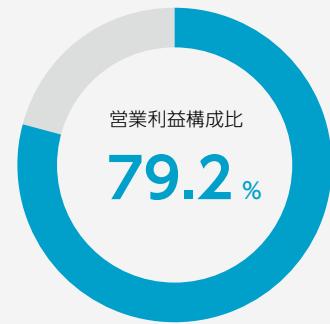
設立以来、高水準のROEと営業利益を維持し、「JPX日経インデックス400」にも継続採用されております。

※JPX日経インデックス400は、日本取引所グループとその傘下の東京証券取引所、および日本経済新聞社が共同で開発し、2014年1月6日から公表が始まった株価指数です。

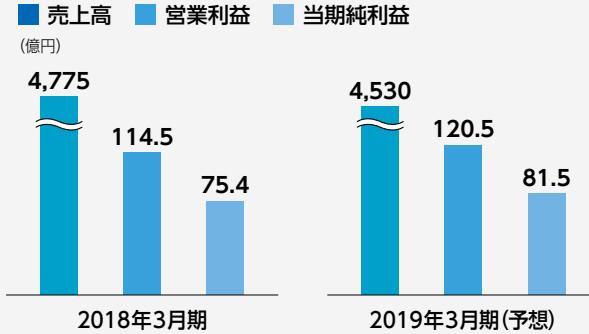
モバイル事業

Mobile Telecommunication Business

携帯電話等の販売及び代理店業務



2018年3月期
売上高 **4,775**億円
営業利益 **114.5**億円



キャリアショップの拡充

「お客様に選ばれる魅力的なショップ」作りを目指し、移転・改装・大型化を含むキャリアショップの拡充を積極的に進めてまいります。



auショップ広大前



ドコモショップ下妻店

カメラソリューションの活用

メリハリシフトの活用等、A店の人員を顧客需要に合わせて販売台数増、CS向上へ

従来の発券機でのカウントでは
同じような来客数に見える店も…

A店 来客数: **1,000**名

B店 来客数: **1,000**名

いつ来ても混んでるな
もういいや、帰ろう…

カメラソリューション
導入で分かった実態

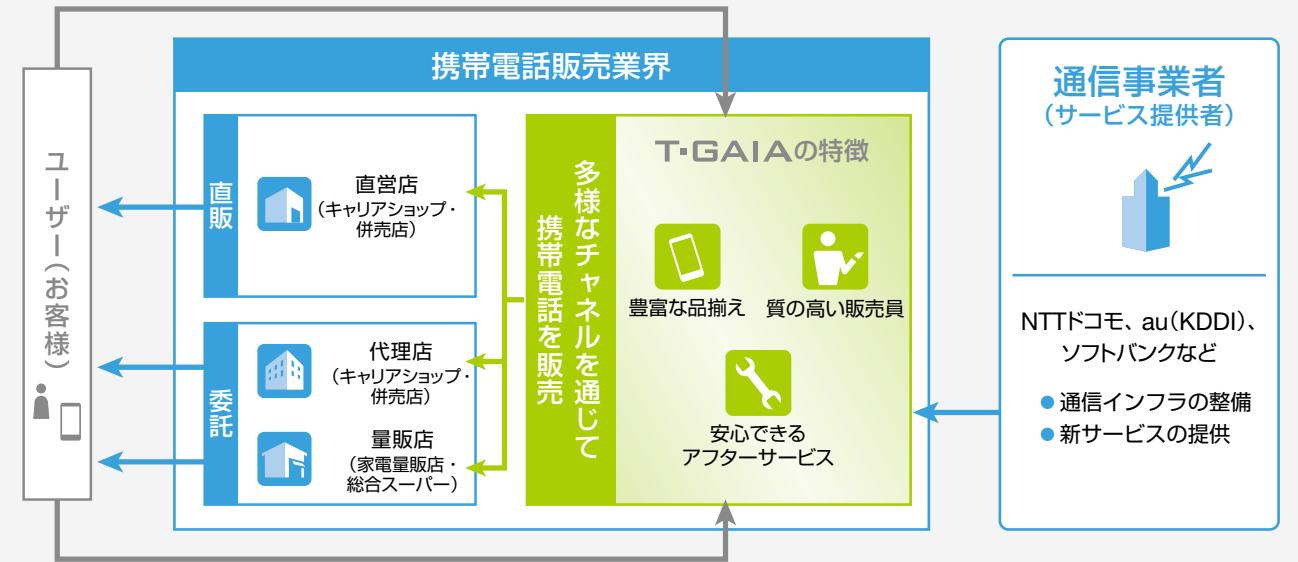
A店 実際の来客数: **1,500**名

B店 実際の来客数: **1,100**名

**発券しない
お客様の
リアルな人数が
把握可能に**

業界におけるティーガイアの役割と位置付け

通信事業者にとって販売代理店は、日々多くのユーザーと接するチャンネル。携帯電話の流通の主役を担っております。

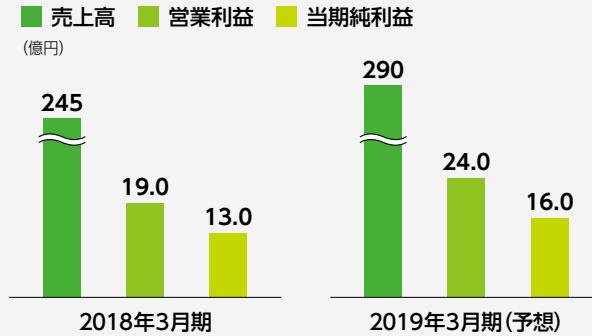


当社グループキャリアショップ店舗数 (直営店・代理店含む) (2018年3月末現在)

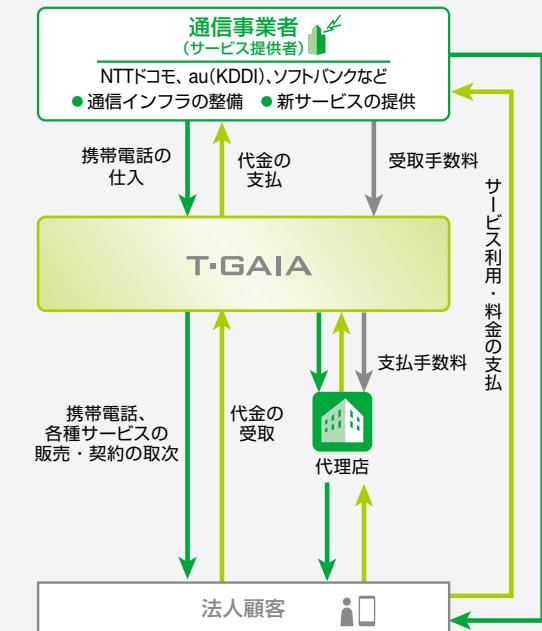


ソリューション事業 Enterprise Solution Business

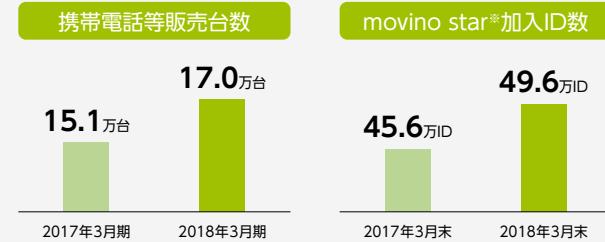
法人顧客向けの携帯電話等の販売やソリューションサービスの提供、固定通信サービスの販売取次業務



携帯電話販売事業(法人顧客向け)



好景気や「働き方改革」を背景に法人のスマートデバイス導入を推進し、増収増益

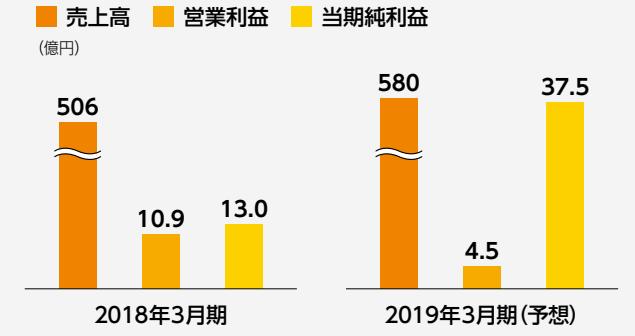


ヘルプデスク
PCテクノロジー株式会社への出資等を通じて、ICT機器ヘルプデスク事業の体制強化。対応スキル向上により、加入ID数増加。

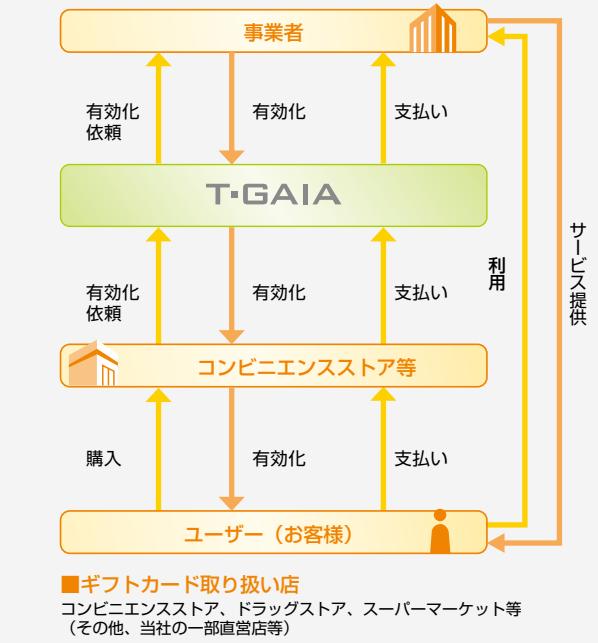
他業種への拡大
学習塾を中心とした教育業界でのソリューションノウハウを、学校や介護業界等へ展開

決済サービス事業他 Settlement Service & Other Business

決済サービス、海外事業、その他新規事業



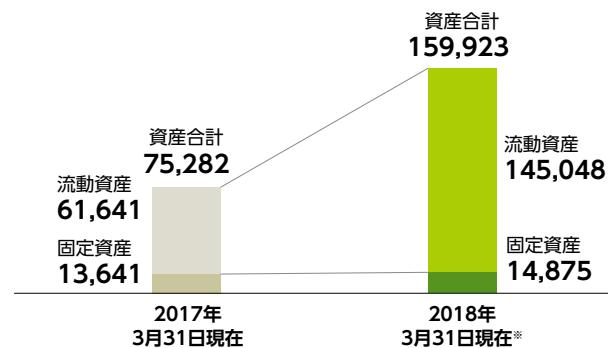
ギフトカードの販売モデル



既に、ティーガイアの法人顧客へのQUOカード販売、携帯ショップでのギフト活用を本格化。今後は「スマホで決済するデジタル版QUOカード」を早期に立ち上げるべく、当社とクオカード社にとって重要課題であるデジタル化を加速させてまいります。

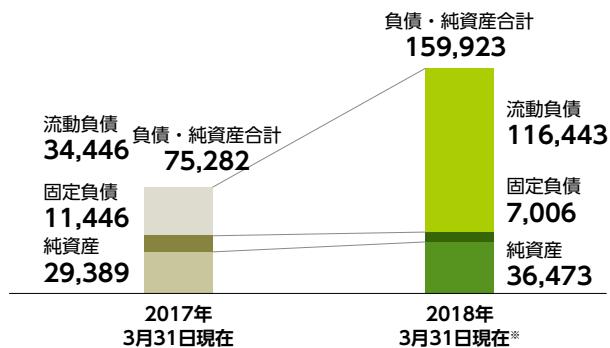
連結貸借対照表 (単位:百万円)

資産の部



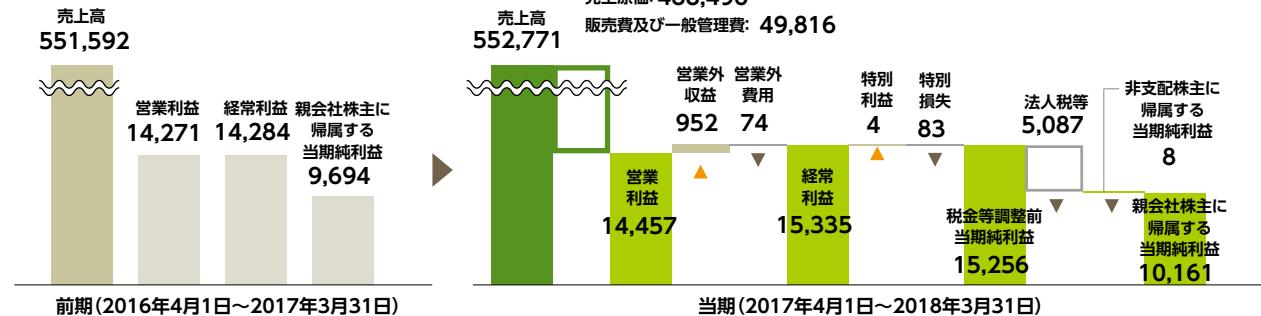
* (株)クオカード子会社化に伴う影響が含まれております。

負債・純資産の部

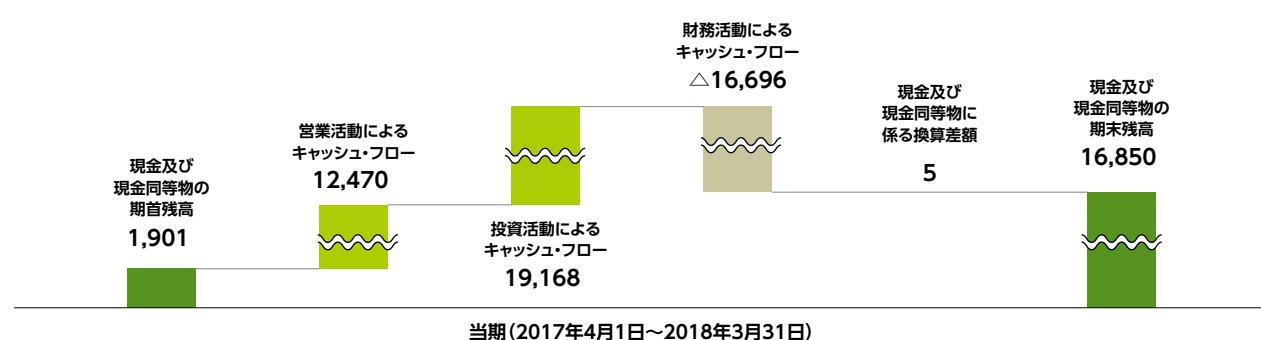


* (株)クオカード子会社化に伴う影響が含まれております。

連結損益計算書 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



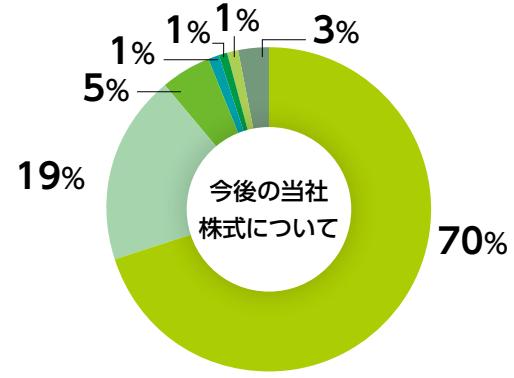
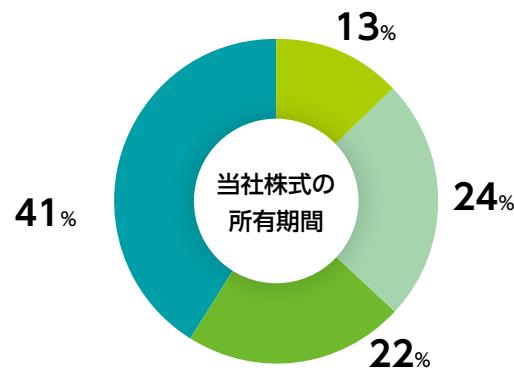
TG ラウンジ

株主様と当社グループのコミュニケーションコーナーです。



アンケート結果報告

[TG REPORT (株主通信)]をご覧いただき、誠にありがとうございます。当社グループは、IR (投資家向け広報) 活動の一環として、株主の皆様とのコミュニケーション促進を図るべく、アンケートを実施させていただいております。前回のアンケートにおきましては、492名の株主様よりご回答をいただきました。貴重なご意見・ご要望は、今後のIR活動および「TG REPORT」作成の参考にさせていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。



4割強の株主様に、当社株式を3年以上保有いただいております。今後につきましても、「長期保有」「当面保有」「買い増し」とのご回答が9割以上を占め、特に「長期保有」の割合が過去最高となっております。



株主様の声

経営について

- (株)クオカードの子会社化は素晴らしいです。これからも維持して頑張ってください。
- デジタル版QUOカードに期待します。
- ESG活動の拡充を期待します。

配当・株主優待について

- 優待品のQUOカードありがとうございました。楽しく使いました。
- QUOカードの株主優待をぜひ継続してください。
- 業績を上げて、安定した配当と優待の継続を期待します。



— ティーガイアの株主優待

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する中長期的な投資魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

このたび、当社株式をより多くの株主の皆様に継続的に保有していただくため、2018年3月末現在の株主様を対象とした株主優待制度を下記のとおり決定いたしました。



■ 対象となる株主様

9月末日現在、3月末日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上保有の株主様を対象とします。

■ 株主優待の内容

100株(1単元)以上保有されている株主様に対して、QUOカードを贈呈いたします。(年2回)

		保有期間					
		9月末日基準日		3月末日基準日		(参考)年間総額	
		1年未満	1年以上	1年未満	1年以上	1年未満	1年以上
保有株式数	100株以上 300株未満	1,000円分	2,000円分	1,000円分	1,000円分	2,000円分	3,000円分
	300株以上	2,000円分	3,000円分	1,000円分	2,000円分	3,000円分	5,000円分

- ※1 保有期間1年以上の株主様とは、毎年9月末日および3月末日の株主名簿において、同一株主番号で3回以上連続して記載または記録された株主様といたします。
- ※2 初回の保有期間は、2017年3月末日まで遡り判定いたします。また、保有株式数は、2018年3月末日現在の保有株式数にて判定し、途中の基準日の保有株式数については考慮いたしません。

■ 送付時期

9月末日を基準日とする株主優待は12月上旬、3月末日を基準日とする株主優待は6月下旬の発送を予定しております。

■ カードデザインについて

2018年3月末現在の株主様にお届けさせていただきましたQUOカードのデザインは、障がい者アートを支援する「パラリンアート」作品を使用しております。「パラリンアート」とは、障がい者アーティストと支援者がひとつのチームになり、社会保障費に依存せず、民間企業・個人の継続協力で障がい者支援を継続できる社会貢献型事業です。当社は、2018年4月にパラリンアートオフィシャルパートナーとなりました。



作品名:海・砂・花々
作者:古謝 哲也

— CSR サイトのリニューアル

当社のCSR活動について多くの皆様にご覧いただくため、ホームページのCSRサイトをリニューアルいたしました。主な取組み内容を分かりやすくまとめたデザインとなっておりますので、ぜひご覧ください。



CSRサイトのご案内

<https://www.t-gaia.co.jp/company/csr.html>



■ 第3回「ホワイト企業アワード」にて「育児支援部門大賞」を受賞

当社は、法定を超える育児関連制度や育児と仕事の両立支援を目的とした取組みが評価され、第3回「ホワイト企業アワード」において「育児支援部門大賞」を受賞いたしました。

